

事務連絡
平成 29 年 4 月 27 日

各正会員
事務局責任者 様

公益社団法人全国産業廃棄物連合会
専務理事 森谷 賢

先進対策の効率的実施による二酸化炭素排出量大幅削減設備補助事業に係る対象事業者の公募について (周知依頼)

当連合会の事業の運営につきましては、日頃から格別のご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

産業廃棄物処理業における地球温暖化対策に効果的な対策として、処理施設に限らず事業所等における省エネ対策の導入も有効であります。

このような状況の中、標題に関する事業の公募及び説明会開催のお知らせが、環境省及び執行団体ホームページで公表されました。

つきましては、貴職におかれましても貴協会会員に対し周知頂く等、ご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

詳細につきましては、執行団体HP等をご確認頂ければと存じます。

記

【事業名】 先進対策の効率的実施による二酸化炭素排出量大幅削減設備補助事業 (ASSET 事業)

(平成 29 年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金)

【概要】 事業者が、L2-Tech 認証製品の導入などにより事業場・工場における適切な CO2 排出削減目標を掲げ、その目標達成を約し、本事業の参加者全体で排出枠を調整し、補助事業全体で確実な排出削減を担保することで、業務・産業両部門における CO2 排出量を効率的に大幅削減する事を目的に、先進的で高効率な低炭素機器として環境大臣が指定するもの等の導入を支援する。(ASSET 事業の概要及び対象設備・機器一覧は、別添参照。)

【URL】 <http://www.asset.go.jp/rule>

【公募期間】 平成 29 年 4 月 27 日 (木) ~ 平成 29 年 5 月 25 日 (水)

【連絡先】 (一社) 温室効果ガス審査協会

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-29-1 住友不動産一ツ橋ビル 7F

問合せ専用メールアドレス：asset@gaj.or.jp

担当：ASSET 事業運営センター 事業部

(連合会担当：横山)

ASSET事業概要

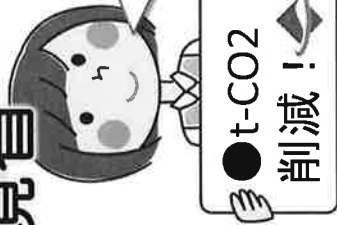
ASSET事業は、先進的で高効率な低炭素機器の導入に取り組み事業者が、当該機器の導入等を加味した適切なCO2排出削減目標を掲げ、その目標達成を約し、低炭素機器の導入と併せて事業所における運用改善の取組も行いつつ、本事業の参加者全体で排出枠の調整を行うことで事業全体として確実な排出削減を担保し、CO2排出量を効率的に大幅削減することを目的としています。

環境省

電気代が高くなったけど
設備更新ができない。



高効率設備の
情報は少なく、
高コスト



店舗や工場
で目標を立てて
削減する取組
を支援します。

事業者



大幅削減の
目標達成
(クレジットの
活用等を含む)

- ・ガスエンジンヒートポンプ
- ・店舗・オフィス用エアコン
- ・温水・蒸気ボイラ
- ・LED照明器具
など

L2-Tech
認証製品
リスト一覧



対象設備の導入補助
(採択基準：削減の費用対効果)
“リバースオークション”

費用を抑えて大幅削減するぞ！

ASSET事業の特徴

- ①L2-Tech認証製品の導入、②その他低炭素機器の導入、
- ③運用改善等という3つの取組を適切に組み合わせて目標を設定

先進対策

L2-Tech 認証製品 (産業・業務(業種共通))の導入 = 大幅なCO2削減効果が期待できる!

- ✓ ガスヒートポンプ
- ✓ パッケージエアコン
- ✓ ターボ冷凍機
- ✓ 吸着式冷凍機
- ✓ 高温水ヒートポンプ
- ✓ ヒートポンプ給湯器
- Etc....

※2016年度夏版・2016年度冬版が対象

上記のL2-Tech 認証製品以外のCO2削減に繋がる機器の導入 = L2-Tech 認証製品と組み合わせることによって更なるCO2削減効果が期待できる!

運用改善

例2



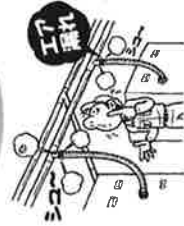
削減ポテンシャルの見直し、排出権削減に対する従業員やテナントの意識向上

例1



見える化機器などの活用

例3



補助金を活用しない自主的な省CO2対策

大幅排出削減を実現!
1トンの削減に必要な事業費の小さい額から採用することで、費用効果的な削減対策を選出

CO₂ 排出量

先進対策

運用改善

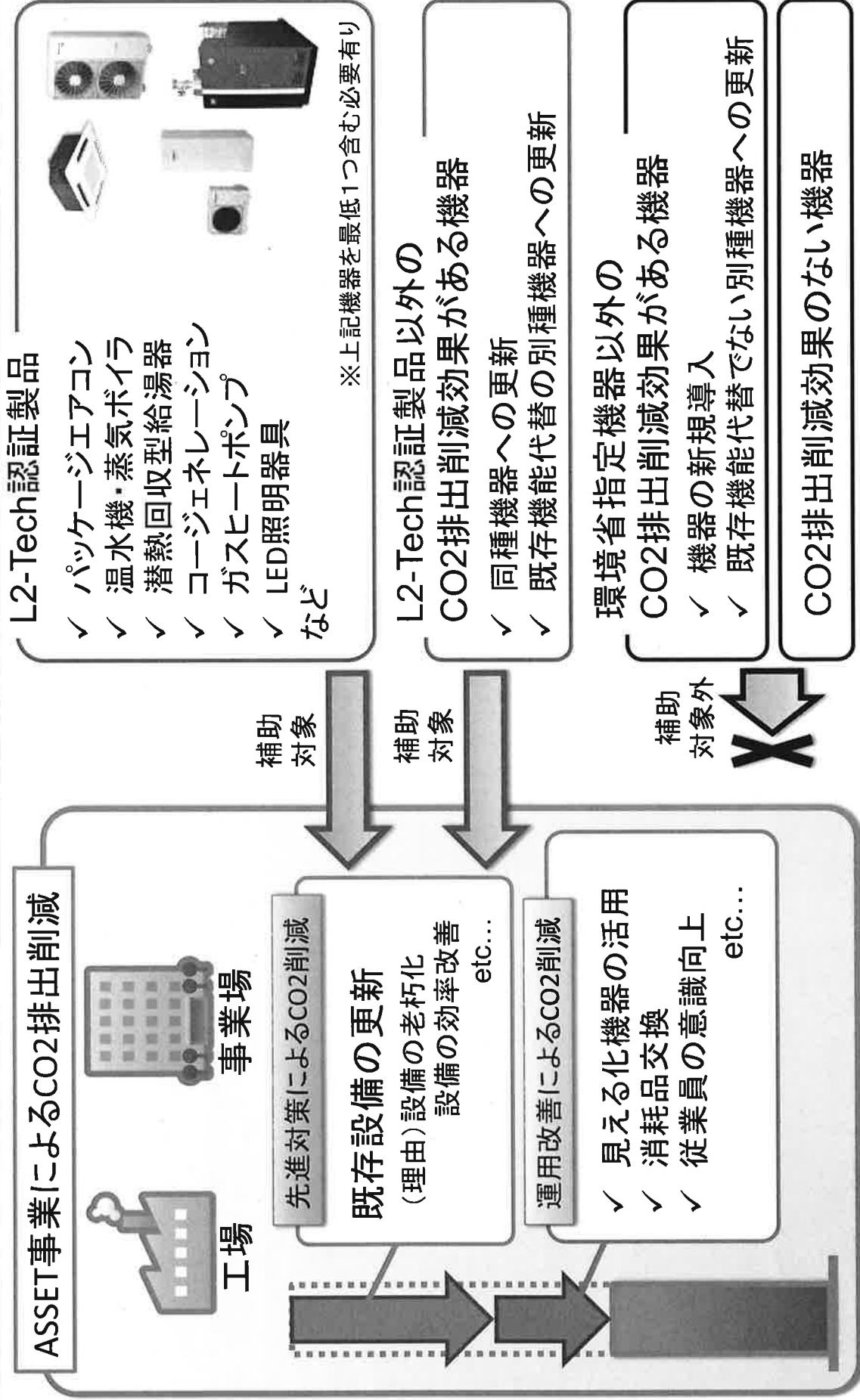
Before After

成果報酬



削減約束量を上回る削減を達成した場合、他の制度参加者へ売却できる排出枠を付与

事業実施の考え方

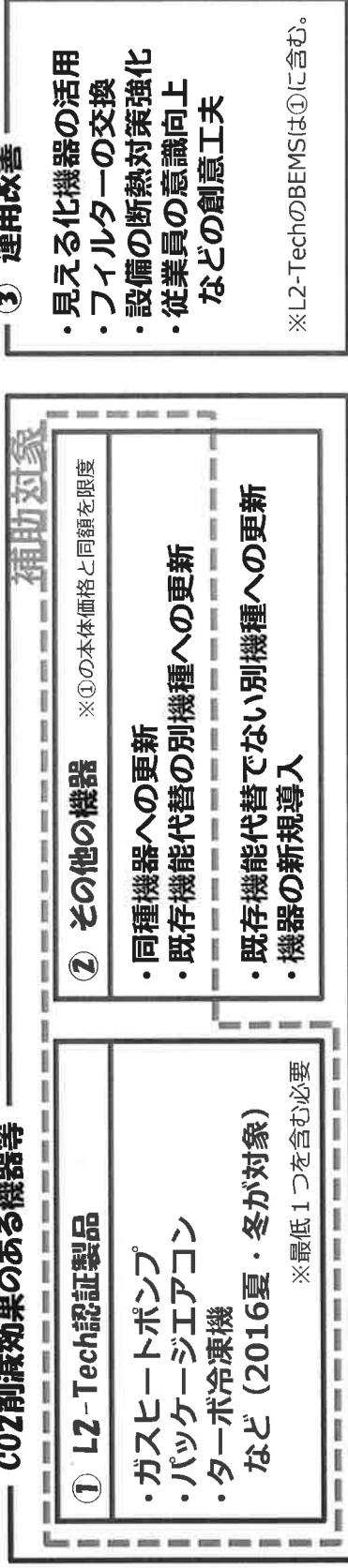


先進対策と運用改善により
既存事業場における削減ポテンシャルを十分に活用し、CO2排出量大幅削減を実現する。

ASSET事業 実施の考え方(事業の流れ)

STEP1 CO2排出削減目標量の設定

CO2削減効果のある機器等



STEP2 採択審査

リバースオークションに費用効率性(次式で算出)の優れた提案から順に採択
ただし、同種のL2-Tech認証製品を活用する事業の採択は全体で3件を限度

補助金対象事業費

$$\text{費用効率性} = \frac{\text{補助金対象事業費}}{\text{CO2排出削減目標量(①+②+③)} \times \text{導入設備の法定耐用年数}}$$

STEP3 補助事業採択/交付申請

STEP1の目標を順守

事業参加者間でのCO2排出枠取引の実施(それでも目標未達の場合、補助金返還)

L2-Tech認証製品の導入成果等の報告及びCO2排出削減努力の継続

導入成果を公表

環境大臣指定設備・機器等一覧

2016年度夏版L2-Tech認証製品一覧及び2016年度冬版L2-Tech認証製品一覧のうち、「産業・業務（業種共通）」に掲げる設備・機器等に属する製品を本事業における「L2-Tech認証製品」とする。

2016年度夏版L2-Tech認証製品一覧 (<http://www.env.go.jp/press/files/jp/103996.pdf>より抜粋)

区分	設備・機器等
空調機（ヒートポンプ・個別方式）	A-01-001 カスヒートポンプ
	A-01-002 ハッケージエアコン(店舗・オフィス用)
	A-01-003 ハッケージエアコン(設備用)
	A-01-004 ハッケージエアコン(ビル用マルチ)
	A-01-005 氷蓄熱式ハッケージエアコン
熱源・空調機（ヒートポンプ・中央方式）	A-02-001 ターボ冷凍機
	A-02-002 水冷ヒートポンプチラー
	A-02-003 空冷ヒートポンプチラー
熱源・空調機（吸収式・中央方式）	A-04-001 吸収冷温水機（二重効用）
	A-04-002 吸収冷温水機（三重効用）/廃熱投入型吸収冷温水機（三重効用）
	A-04-003 一重二重併用形吸収冷温水機
熱源・空調機（吸着式・中央方式）	A-05-001 吸着式冷凍機
熱源（ヒートポンプ）	A-06-001 高温水ヒートポンプ(空気熱源・循環式)
	A-06-002 高温水ヒートポンプ(空気熱源・一過式)
	A-06-003 高温水ヒートポンプ(水熱源・循環式)
	A-06-004 高温水ヒートポンプ(水熱源・一過式)
	A-06-005 高温水ヒートポンプ(水空気熱源・循環式)
	A-06-006 高温水ヒートポンプ(水空気熱源・一過式)
	A-06-007 熱風ヒートポンプ(水熱源・一過/循環式)
	A-06-008 蒸気発生ヒートポンプ(水熱源・一過式)
	A-06-009 蒸気再圧縮装置(その他熱源・循環式)
給湯器（ヒートポンプ）	A-07-001 ヒートポンプ給湯機(空気熱源・一過式)
	給湯器（ガス式）
ボイラ	A-08-001 潜熱回収型給湯器
	A-09-001 温水機
	A-09-002 蒸気ボイラ(貫流ボイラ)
	A-09-003 蒸気ボイラ(炉筒煙管ボイラ)
	A-09-004 蒸気ボイラ(水管ボイラ)
A-09-005 熱媒ボイラ	
コージェネレーション	A-10-001 ガスエンジンコージェネレーション
	A-10-002 ガスタービンコージェネレーション
	A-10-003 燃料電池コージェネレーション
冷凍冷蔵機器	A-11-001 業務用冷凍冷蔵庫
	A-11-002 空気冷媒方式冷凍機
	A-11-003 冷凍冷蔵倉庫用自然冷媒冷凍機（アンモニア/CO2二次冷媒システム）
照明器具	A-12-001 LED照明器具
モータ	A-14-001 誘導モータ
	A-14-002 永久磁石同期モータ
変圧器	A-15-001 変圧器
窓	A-16-001 窓ガラス
エネルギーマネジメントシステム	A-18-001 BEMS（制御サービス・空調・熱源・中央方式）

2016 年度冬版 L2-Tech 認証製品一覧 (http://www.env.go.jp/press/files/jp/105150.pdf
より抜粋)

技術体系	設備・機器等	リンク
空調機 (ヒートポンプ・個別方式)	ガスヒートポンプ	リンク
	パッケージエアコン (店舗・オフィス用)	リンク
	パッケージエアコン (設備用)	リンク
	パッケージエアコン (ビル用マルチ)	リンク
	氷蓄熱式パッケージエアコン	リンク
熱源・空調機 (ヒートポンプ・中央方式)	フロン類等冷媒ターボ冷凍機	リンク
	自然冷媒ターボ冷凍機	リンク
	水冷ヒートポンプチラー	リンク
	空冷ヒートポンプチラー	リンク
熱源・空調機 (吸収式・中央方式)	間接気化式冷却器	リンク
	吸収冷温水機 (二重効用)	リンク
	吸収冷温水機 (三重効用) 廃熱投入型吸収冷温水機 (三重効用)	リンク
	一重二重併用形吸収冷温水機	リンク
熱源 (ヒートポンプ)	木質ペレット直焚き吸収冷温水機 (二重効用)	リンク
	高温水ヒートポンプ (空気熱源・循環式)	リンク
	高温水ヒートポンプ (空気熱源・一過式)	リンク
	高温水ヒートポンプ (水熱源・循環式)	リンク
	高温水ヒートポンプ (水熱源・一過式)	リンク
	高温水ヒートポンプ (水空気熱源・循環式)	リンク
	高温水ヒートポンプ (水空気熱源・一過式)	リンク
	熱風ヒートポンプ (水熱源・一過・循環式)	リンク
	蒸気発生ヒートポンプ (水熱源・一過式)	リンク
	蒸気再圧縮装置	リンク
給湯器 (ヒートポンプ)	ヒートポンプ給湯機 (空気熱源)	リンク
給湯器 (ガス式)	潜熱回収型給湯器	リンク
ボイラ	温水機	リンク
	蒸気ボイラ (貫流ボイラ)	リンク
	蒸気ボイラ (炉筒煙管ボイラ)	リンク
	蒸気ボイラ (水管ボイラ)	リンク
	熱媒ボイラ	リンク
コージェネレーション	ガスエンジンコージェネレーション	リンク
	ガスタービンコージェネレーション	リンク
	燃料電池コージェネレーション	リンク
冷凍冷蔵機器	空気冷媒方式冷凍機	リンク
	冷凍冷蔵倉庫用自然冷媒冷凍機 (アンモニア/CO2二次冷媒システム)	リンク
照明器具	LED照明器具	リンク
モータ	誘導モータ	リンク
	永久磁石同期モータ	リンク
変圧器	油入変圧器	リンク
	モールド変圧器	リンク
モータ利用機器 (圧縮機)	蒸気駆動圧縮機	リンク
	熱回収式ねじ容積形圧縮機	リンク
窓	Low-E複層ガラス (LE3+A12+FL3)	リンク
	三層Low-E複層ガラス (LE3+A11+FL3+A11+LE3)	リンク
	真空Low-E複層ガラス (LE3+A19+FL3+V0.2+LE3)	リンク
	アタッチメント付きLow-E複層ガラス (LE3+A26+FL3 (アタッチメント付き))	リンク
	真空ガラス (LE3+V0.2+LE3)	リンク
	現場施工型後付けLow-E複層ガラス (FL6+A12+LE5)	リンク
薄型Low-E複層ガラス (LE3+K14+FL3)	リンク	
洗濯機	業務用ヒートポンプ式衣類洗濯乾燥機	リンク
エネルギーマネジメントシステム	BEMS (制御サービス・空調・熱源・中央方式)	リンク



報道発表資料

平成29年4月27日 | 地球環境

平成29年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(先進対策の効率的実施による二酸化炭素排出量大幅削減設備補助事業)に係る対象事業者の公募について

環境省では、業務部門・産業部門における温室効果ガス排出量の大幅削減のため、平成24年度より、事業場・工場を対象に、エネルギー起源二酸化炭素排出抑制のための先進的で高効率な低炭素機器等の導入を支援する「先進対策の効率的実施による二酸化炭素排出量大幅削減設備補助事業」(ASSET事業)を実施しております。本事業は、費用効率性の高い事業を採択するとともに、市場メカニズムを活用(排出枠取引、外部クレジット利用)することで、二酸化炭素排出量の大幅削減を達成することを目指しております。

この度、本年度の対象事業者公募を4月27日(木)より開始し、5月9日(火)から15日(月)までの間、公募説明会を開催いたしますのでお知らせします。多くの事業者の方々にご参加頂ければと思っておりますので、ご検討ください。

1. 公募について

(1) 事業概要

本事業は、先進的で高効率な低炭素機器の導入に取り組む事業者が、ア) L2-Tech認証製品の導入、イ) L2-Tech認証製品以外でエネルギー起源二酸化炭素削減効果のある機器の導入及びウ) その他の自主的対策を組み合わせることにより事業場・工場における適切なCO₂排出削減目標を掲げ、その目標達成を約し、本事業の参加者全体で排出枠を調整し、補助事業全体で確実な排出削減を担保し、業務・産業両部門におけるCO₂排出量を効果的に大幅削減する事を目的に、先進的で高効率な低炭素機器として環境大臣が指定するもの等の導入を支援するものです。

(2) 応募者の要件

以下のアからオの法人・団体であり、かつ、①から③の要件をすべて満たすもの

- ア 民間企業
 - イ 独立行政法人通則法(平成11年法律第103号)第2条第1項に規定する独立行政法人
 - ウ 一般社団法人・一般財団法人及び公益社団法人・公益財団法人
 - エ 法律により直接設立された法人
 - オ その他環境大臣の承認を得て補助事業者が適切と認める者
- ① 補助事業を的確に遂行するのに必要な費用の経理的基礎を有すること
 - ② 補助事業に係る経理その他の事務について適切な管理体制及び処理能力を有すること
 - ③ 暴力団排除に関する誓約事項に誓約できるものであること

(3) 補助対象事業

国内の事業場及び工場の事業所において、先進的で高効率な低炭素機器等を導入する事業であり、かつ、①から⑦の要件を全て満たす事業

- ① 事業場・工場における基準年度排出量※1が50t-CO₂以上であること
 - ② 補助事業実施後の事業場・工場の二酸化炭素排出量が、基準年度比で削減される事業内容であること
 - ③ 別紙「環境省指定設備・機器等一覧」※2に掲げる設備・機器等に属する製品を少なくとも一つ以上導入すること
 - ④ L2-Tech認証製品の材料費が補助事業で導入する機器の材料費全体に対して50%以上であること
 - ⑤ 運用改善等による排出削減目標量が排出削減目標量全体に対して10%以上であること
 - ⑥ 平成28年度に二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(先進対策の効率的実施による二酸化炭素排出量大幅削減設備補助事業)により機器等を導入した事業場・工場でないこと
 - ⑦ L2-Tech認証製品を導入したことによるCO₂削減効果及びランニングコスト削減効果が定量的に把握可能であること(一部例外あり)
- ※1 平成26年度～平成28年度におけるCO₂排出(他社から供給された電気又は熱を使用することを含む)量実績の平均。
- ※2 別紙については、環境省報道発表資料(<http://www.env.go.jp/press/index.html>)からご確認ください。

(4) 補助対象経費

補助対象設備の整備に係る以下①から⑥の経費で、当該事業で使用されたことが証明できるものになります。

- ① 本工事費(材料費・労務費・直接経費・共通仮設費・現場管理費・一般管理費)
- ② 付帯工事費(機械器具費・測量及試験費)
- ③ 機械器具費
- ④ 測量及試験費

⑤ 設備費

⑥ 事務費

(5) 補助金の交付額

ア) L2-Tech認証製品導入に必要な経費の1/2以内※1

イ) その他機器導入に必要な経費の1/3以内

(1実施事業者※2あたりの上限 : 1.5億円)

※1 採択結果により1/3以内となる可能性があります。

※2 本補助金により導入した低炭素機器を実際に使用して二酸化炭素排出削減に取り組む者

(6) 公募期間

平成29年4月27日(木)～平成29年5月25日(木)

(7) 応募方法

ASSETウェブサイト (<http://www.asset.go.jp/rule>) に公募要領、交付規程及び交付規程様式を掲載いたします。応募方法は公募要領に詳細を記載しておりますのでご確認ください。

また、ASSET事業に参加された場合に適用されるルール等を記した「ASSET (Advanced technology promotion Subsidy Scheme with Emission reduction Targets) 第6期実施ルール」及び「ASSETモニタリング報告ガイドライン 6.0」(以下、「制度文書」という。)もあわせて掲載いたしますので、応募にあたっては、制度文書も必ず熟読ください。

2. 公募説明会

開催日	開催地	開催時間	会場
5月9日 (火)	東京A	14:00-16:30 (受付開始	TKPガーデンシティ竹橋 ホール10A (定員220名) http://tkptakebashi.net/access/
5月10日 (水)	福岡	13:30)	TKP博多駅前シティセンター ホールC (定員90名) http://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-hakata-ekimae/access/
5月11日 (木)	大阪		TKP新大阪カンファレンスセンター ホール6A (定員130名) http://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-shinosaka/access/
5月12日 (金)	東京B		TKPガーデンシティ竹橋 ホール10A (定員220名) http://tkptakebashi.net/access/
5月15日 (月)	名古屋		TKPガーデンシティPREMIUM名駅桜通口 ホール3C (定員100名) http://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/gcp-meieki-sakuradoriguchi/access/

申し込み方法等の詳細は、ASSETウェブサイトに掲載されている以下のお知らせをご確認ください。『平成29年度 ASSET事業 公募予告及び公募説明会の受付を開始しました』

(http://www.asset.go.jp/files/2017/rule/as29_koubo_yokoku.pdf)

3. 公募に関する問い合わせ先

執行団体である一般社団法人温室効果ガス審査協会が対応いたします。

問い合わせは、電子メールを利用させていただきます。詳細については公募要領をご確認ください。

添付資料

[【別紙】環境大臣指定 設備・機器等一覧 \[PDF 18 KB\]](#)

連絡先

環境省地球環境局地球温暖化対策課市場メカニズム室

直 通 03-5521-8354

代 表 03-3581-3351

室 長 成田 浩司 (内線7716)

室長補佐 稲垣 信一 (内線7734)

担 当 西山 裕一 (内線7735)